

世代別自転車事故実態（過去5年）

令和6年3月28日

警察本部交通企画課

【概要】

○ 高齢者

- ・ 時間帯別では9時～11時台が約4割を占める。
- ・ 通行目的別では買物が5割以上を占める。
- ・ 買物時の約7割が自宅から1km以下の場所で発生している。

○ 小学生

- ・ 平日が全体の8割を占める。
- ・ 平日の発生で見ると、14時～18時が約9割を占める。
- ・ 事故類型別では出会い頭が約7割を占める。
- ・ 法令違反別では全年齢と比較して一時不停止の割合が3倍以上となっている。

○ 中学生

- ・ 時間帯別では17時～18時が約3割を占める。
- ・ 通行目的別では登下校が3割以上を占める。
- ・ 登下校における人的要因では、安全不確認が約7割を占める。
- ・ 登下校における衝突地点別では、交差点内が約8割を占める。

○ 高校生

- ・ 時間帯別では7時～8時が3割以上を占める。
- ・ 通行目的別では登下校が約8割を占める。
- ・ 登下校における人的要因別では、安全不確認が4割以上で最も多く、次いで動静不注視が多い。
- ・ 登下校における衝突地点別では、交差点内が7割以上を占める。

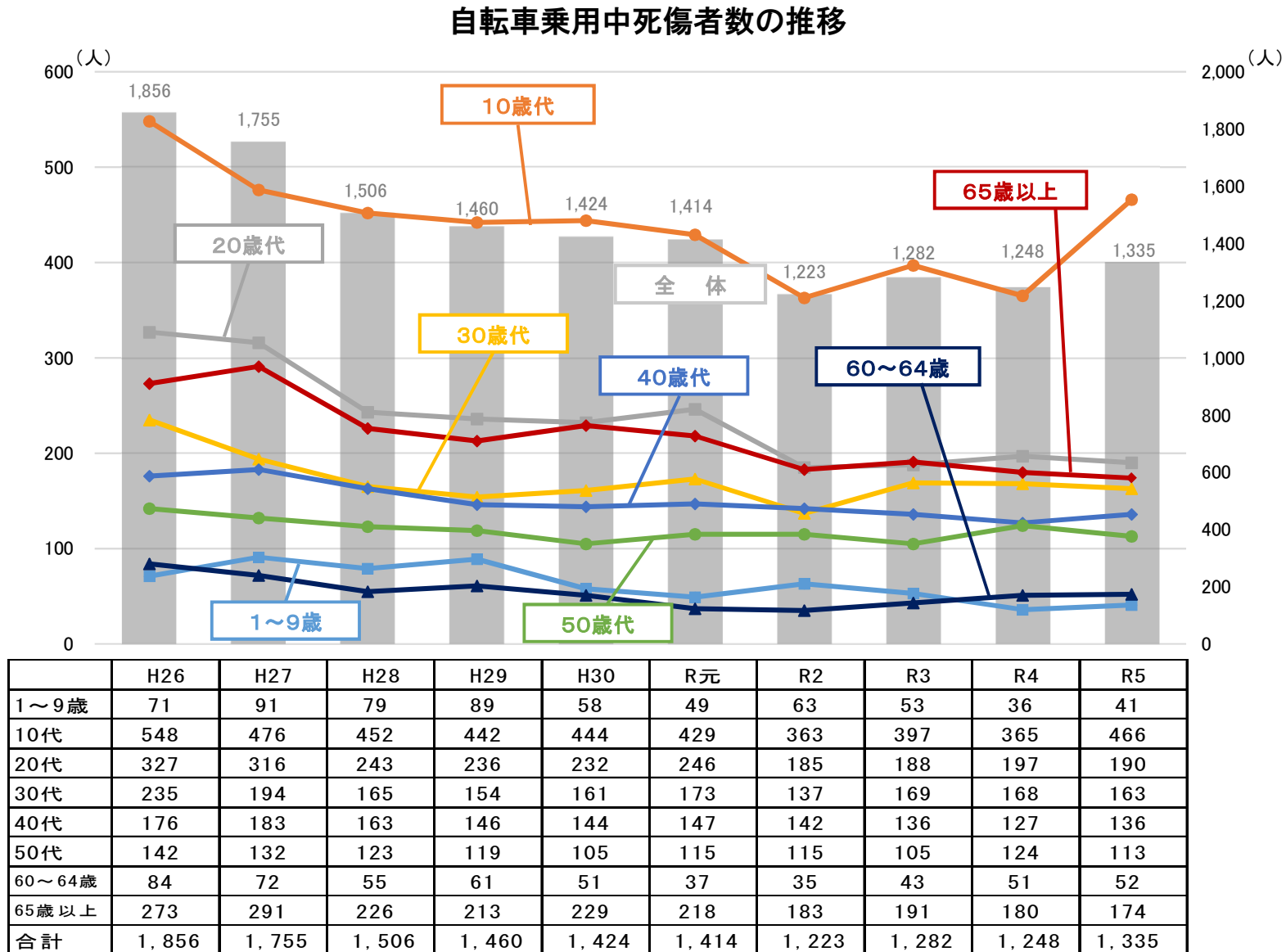
◎ 共通の特徴

- ・ いずれの年代も交差点内の事故が多い。
ヘルメット着用率については、小学生及び中学生の着用率が全国と比較して特に低い。
また、高齢者の着用率は全国平均を上回った。

※ グラフの構成率は、単位未満で四捨五入してあるため、合計等が内訳の数値と一致しない場合がある。

自転車乗用中死傷者数の推移

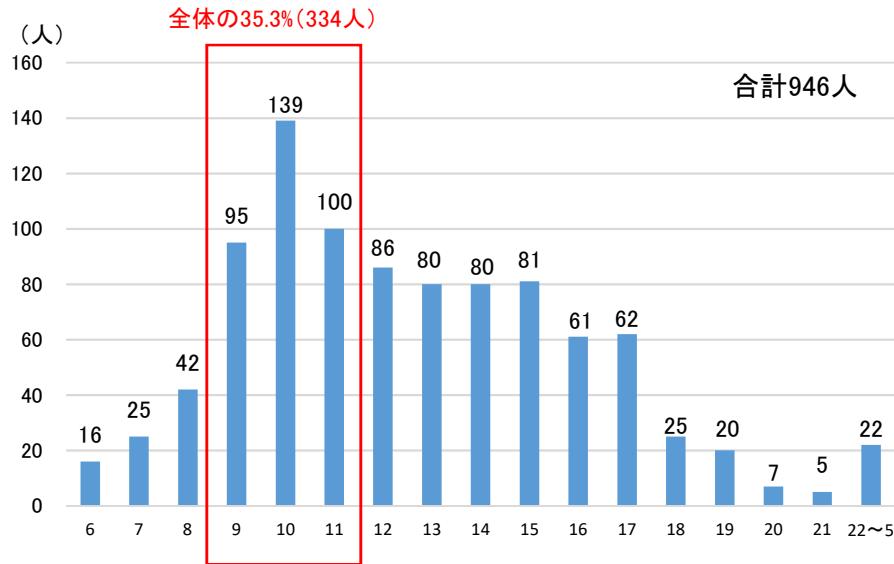
図 自転車乗用中死傷者数の推移(平成26年～令和5年)



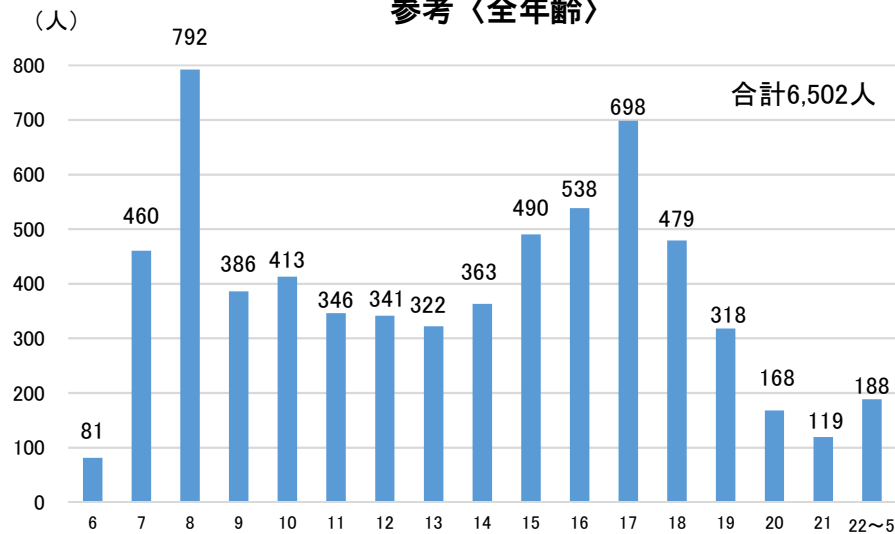
※ 自転車の同乗者(幼児用座席乗車中の者、二人乗り等)を含む

高齢者の自転車乗用中の交通事故発生状況

時間帯別自転車乗用中死傷者数 【令和元年～令和5年合計】

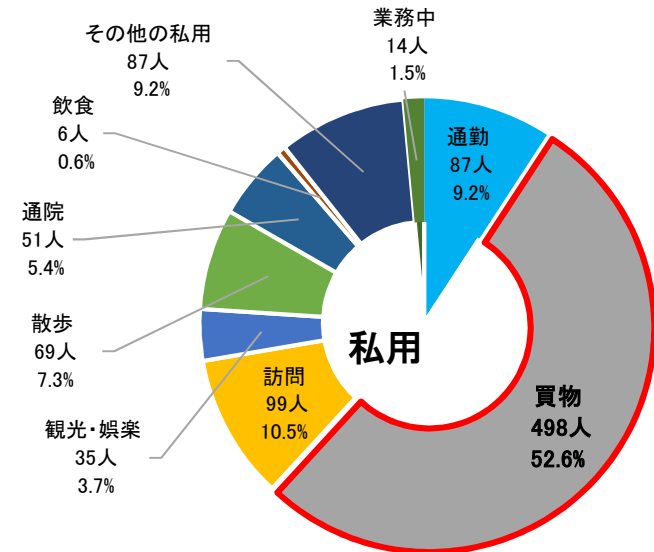


参考〈全年齢〉

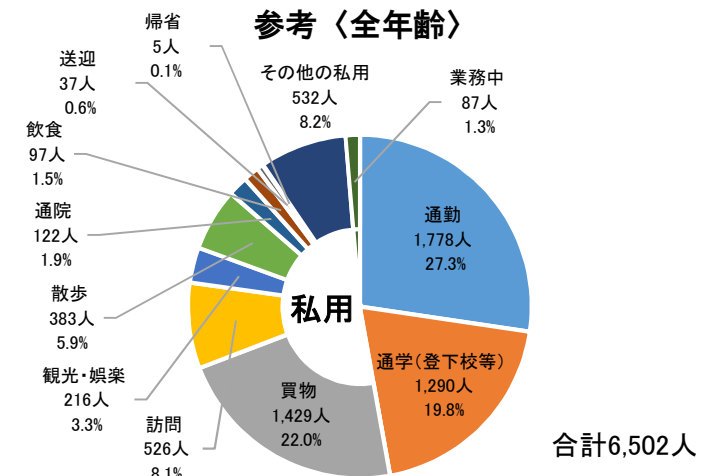


※ 自転車の同乗者（幼児用座席乗車中の者、二人乗り等）を含む

通行目的別自転車乗用中死傷者数 【令和元年～令和5年合計】



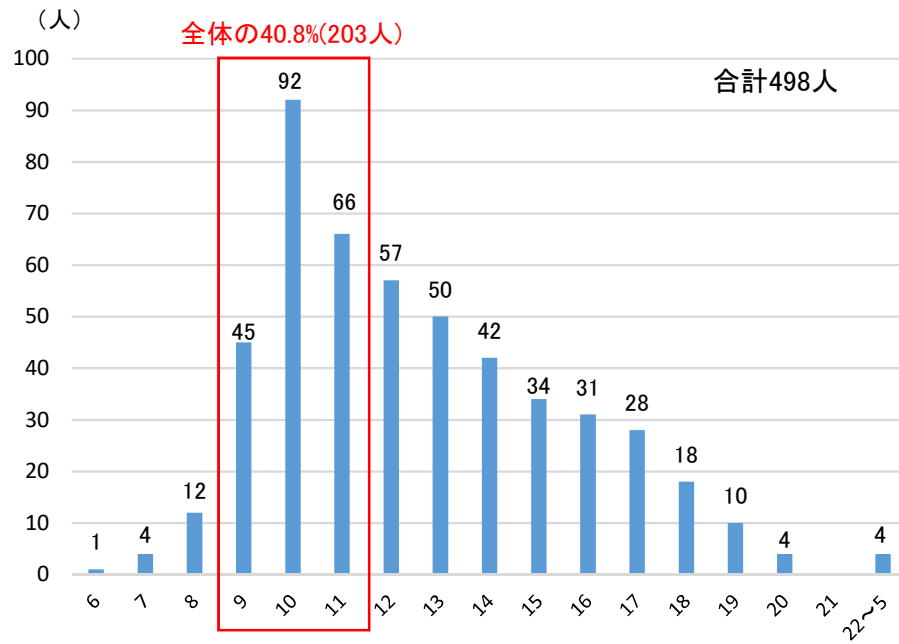
参考〈全年齢〉



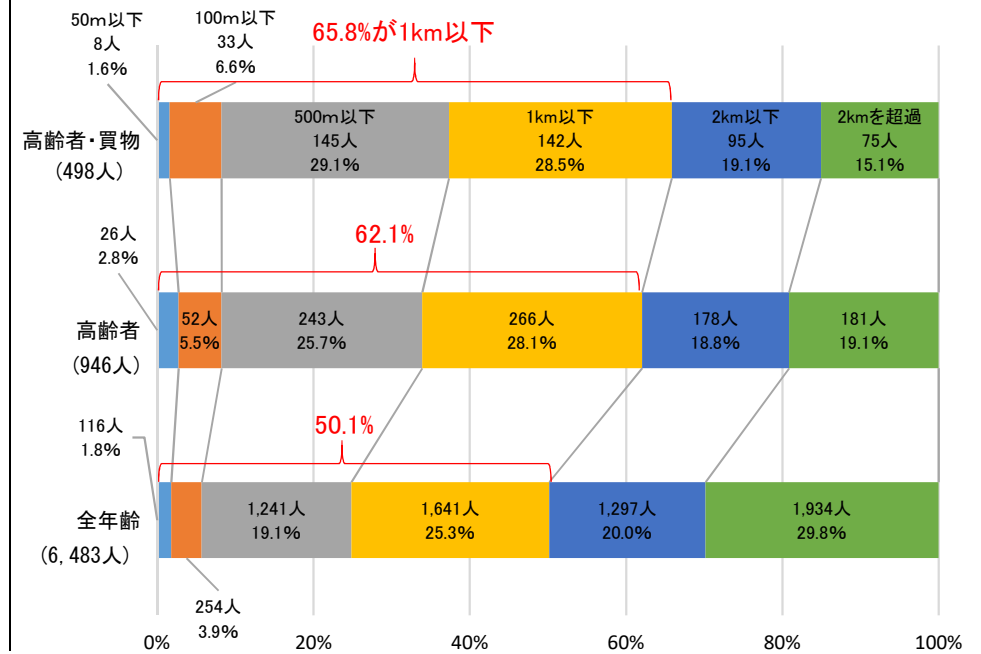
※ 自転車の同乗者（幼児用座席乗車中の者、二人乗り等）を含む

高齢者の自転車乗用中の交通事故発生状況

時間帯別自転車乗用中死傷者数
【買物・令和元年～令和5年合計】



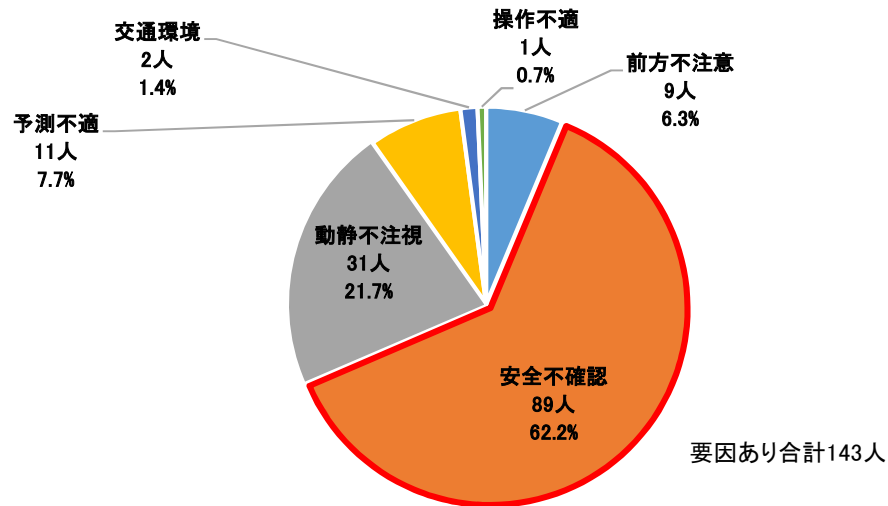
自転車運転者の自宅からの距離別
自転車乗用中死傷者数
【令和元年～令和5年合計】



※ 自転車の同乗者(幼児用座席乗車中の者、二人乗り等)を除く

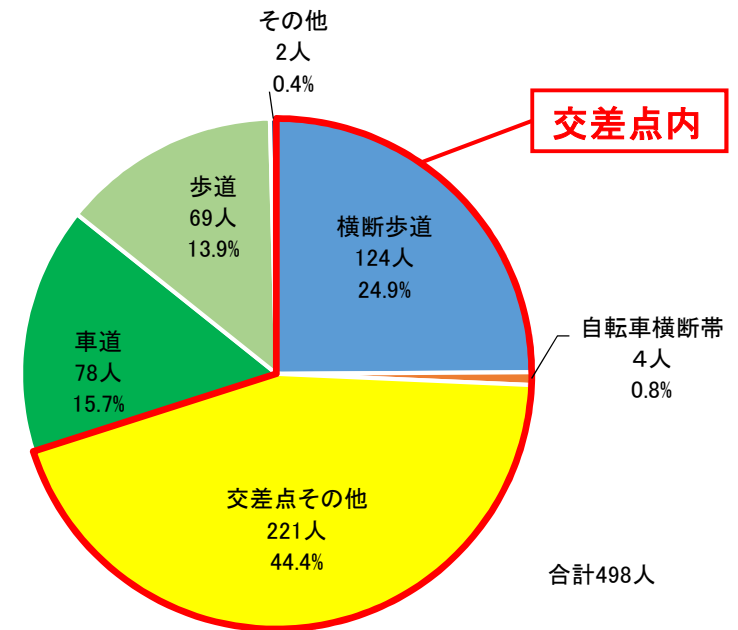
高齢者の自転車乗用中の交通事故発生状況

自転車乗用中死傷者の人的要因
【買物・令和元年～令和5年合計】



人的要因あり	前方不注意		9人
	安全不確認	安全確認をしなかった	51人
		安全確認が不十分	38人
	動静不注視	相手が譲ってくれると思った	29人
		その他	2人
	予測不適		11人
	交通環境		2人
	操作不適		1人
	小計		143人
	人的要因なし		355人
合計		498人	

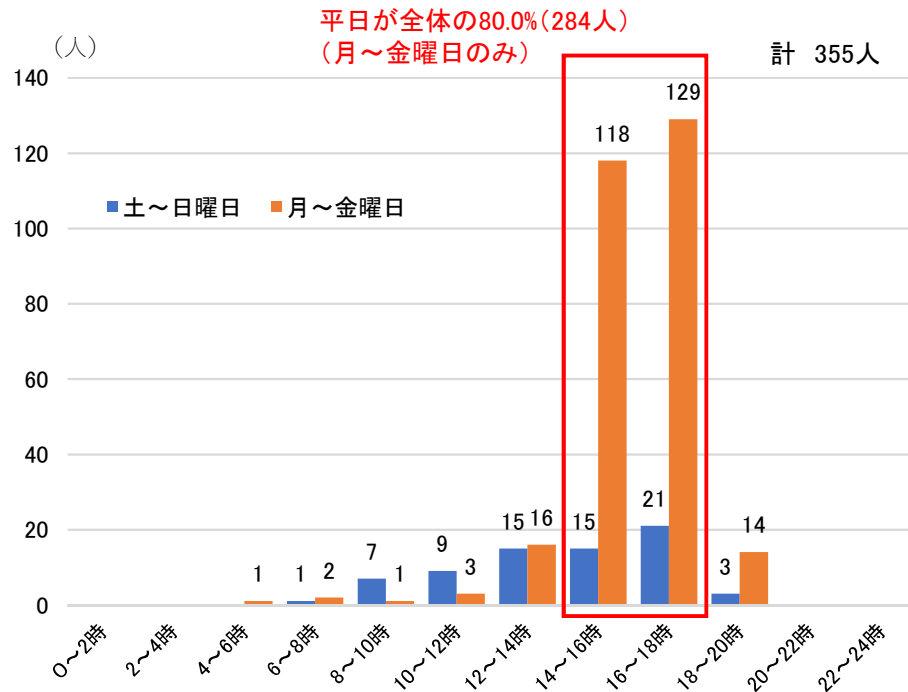
衝突地点別自転車乗用中の死傷者数
【買物・令和元年～令和5年合計】



※ 自転車の同乗者(幼児用座席乗車中の者、二人乗り等)を除く

小学生の自転車乗用中の交通事故発生状況

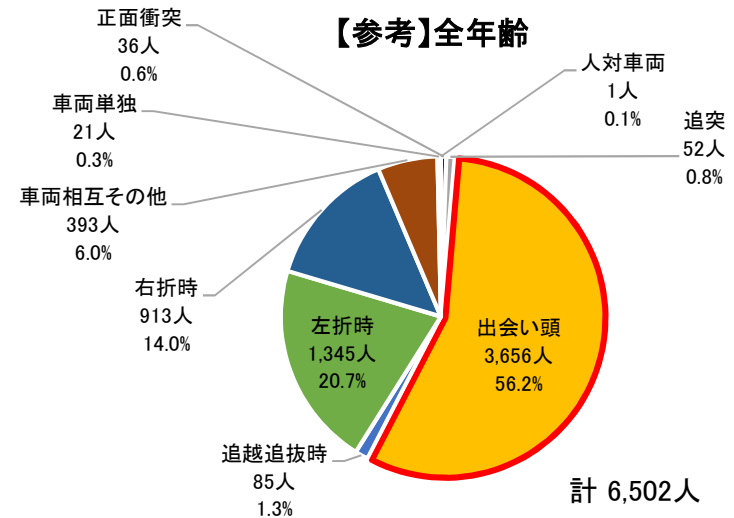
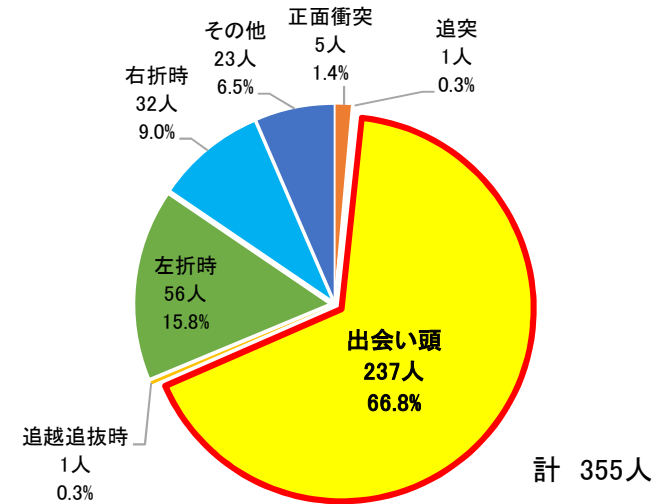
自転車乗用中の曜日別時間帯別死傷者数
【令和元年～令和5年合計】



平日の発生で見ると、14時～18時が約9割を占める。

※ 自転車の同乗者(幼児用座席乗車中の者、二人乗り等)を含む

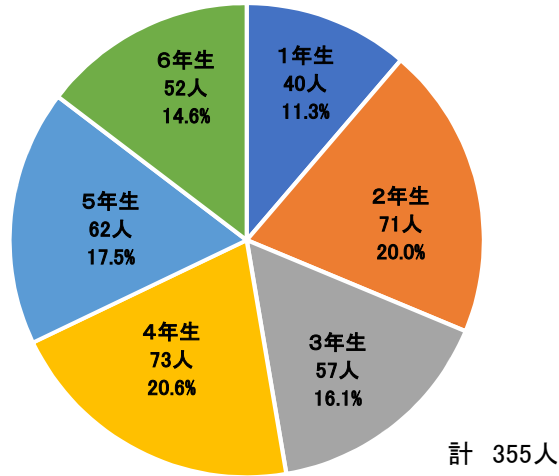
自転車乗用中の事故類型別死傷者数
【令和元年～令和5年合計】



※ 自転車の同乗者(幼児用座席乗車中の者、二人乗り等)を含む

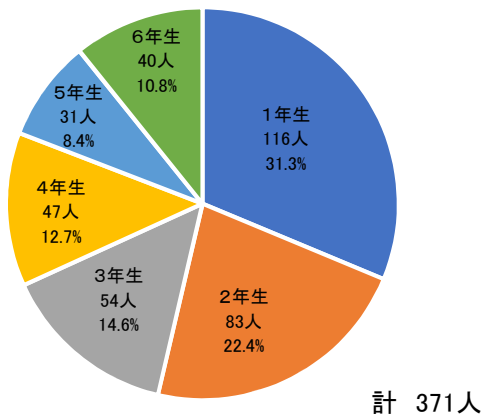
小学生の自転車乗用中の交通事故発生状況

学年別自転車乗用中の死傷者数
【令和元年～令和5年合計】

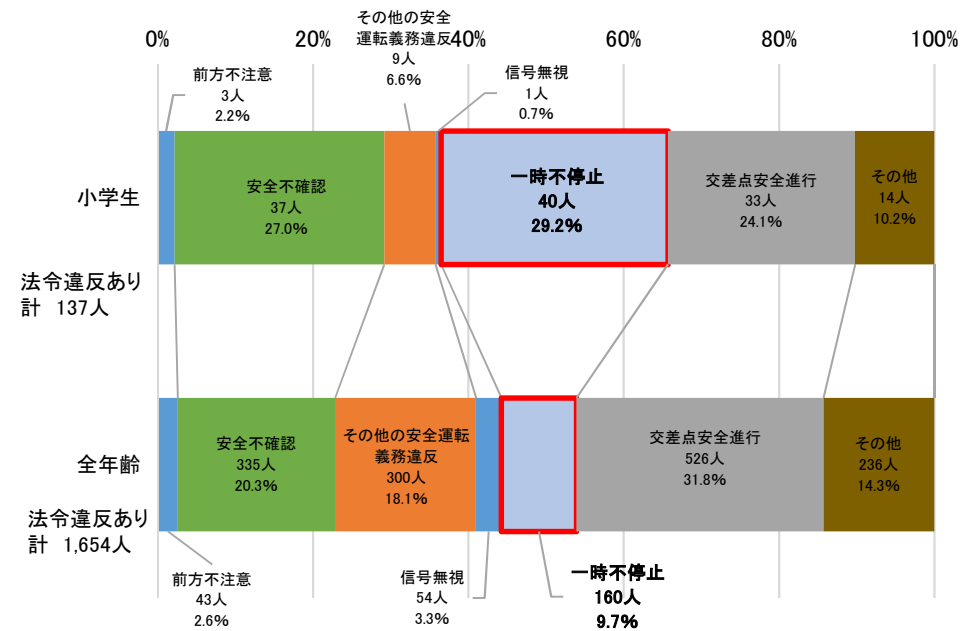


※ 自転車の同乗者（幼児用座席乗車中の者、二人乗り等）を含む

参考〈歩行中〉



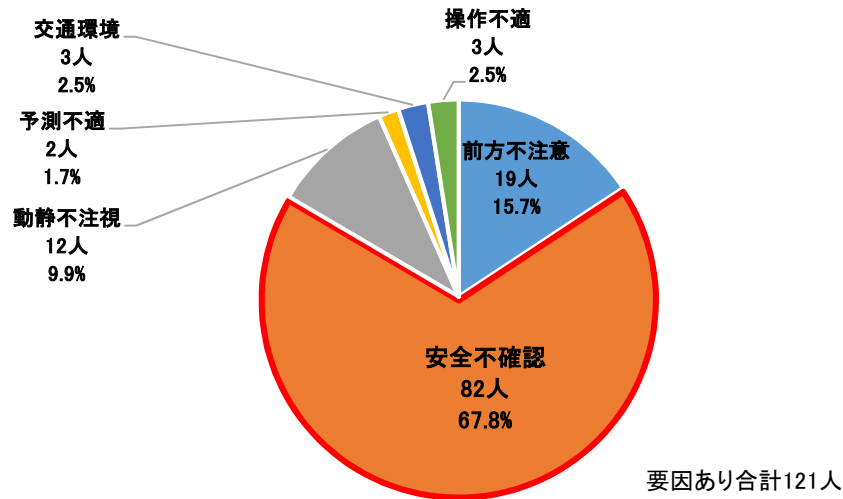
自転車乗用中の法令違反別死傷者数
【令和元年～令和5年合計】



※ 法令違反あり（第1、第2当事者のみの法令違反）

小学生の自転車乗用中の交通事故発生状況

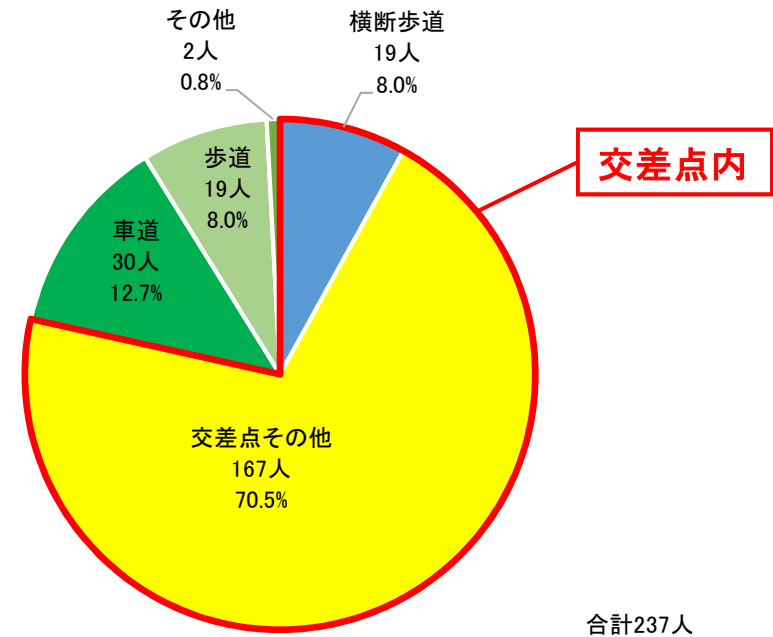
自転車乗用中死傷者の人的要因
【出会い頭・令和元年～令和5年合計】



※ 自転車の同乗者(幼児用座席乗車中の者、二人乗り等)を除く

人的要因あり	前方不注意	19人	
	安全不確認	安全確認をしなかった	53人
		安全確認が不十分	29人
	動静不注視	相手が譲ってくれると思った	12人
		その他	0人
	予測不適	2人	
	交通環境	3人	
	操作不適	3人	
	小計	121人	
	人的要因なし	114人	
合計	235人		

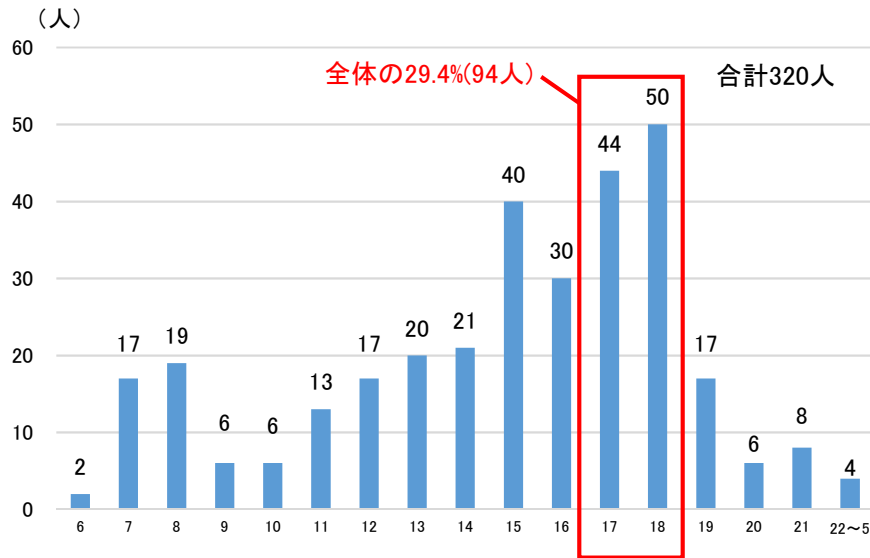
衝突地点別自転車乗用中の死傷者数
【出会い頭・令和元年～令和5年合計】



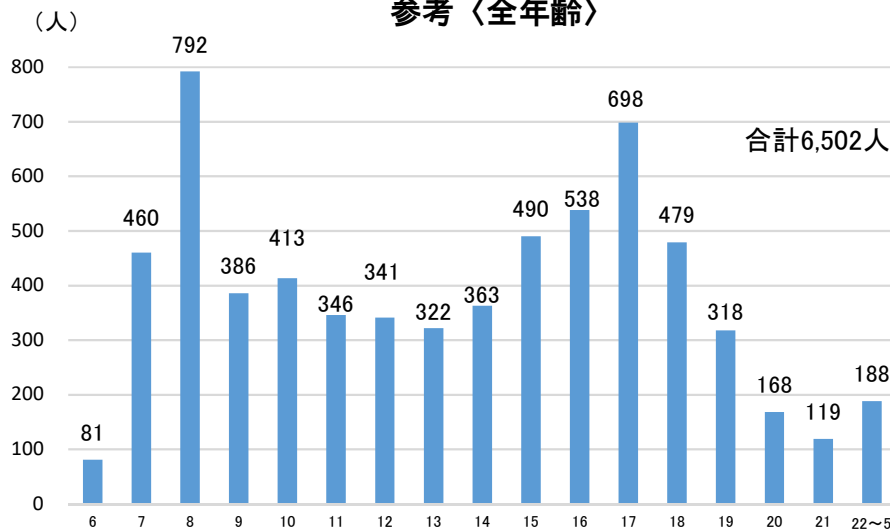
※ 自転車の同乗者(幼児用座席乗車中の者、二人乗り等)を含む

中学生の自転車乗用中の交通事故発生状況

時間帯別自転車乗用中の死傷者数 【令和元年～令和5年合計】

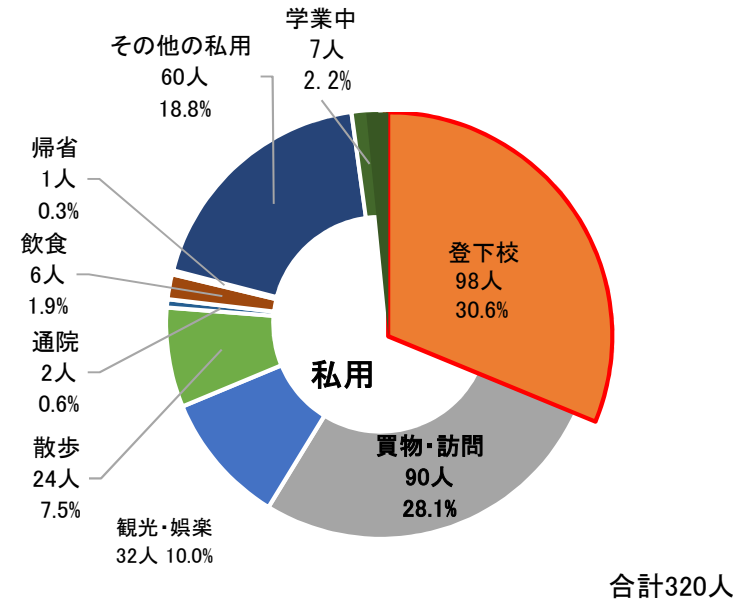


参考〈全年齢〉

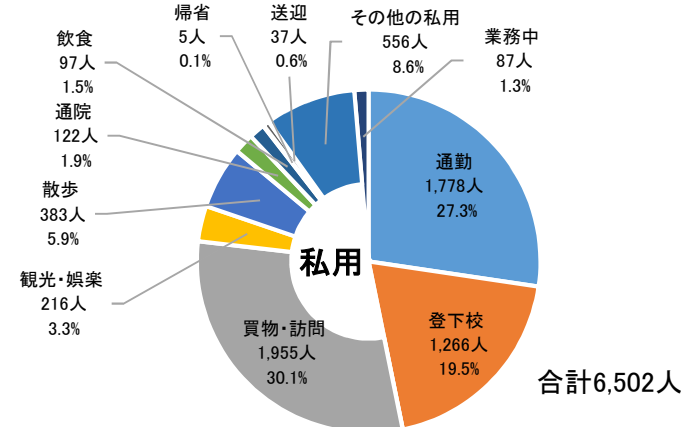


※ 自転車の同乗者（幼児用座席乗車中の者、二人乗り等）を含む

通行目的別自転車乗用中の死傷者数 【令和元年～令和5年合計】



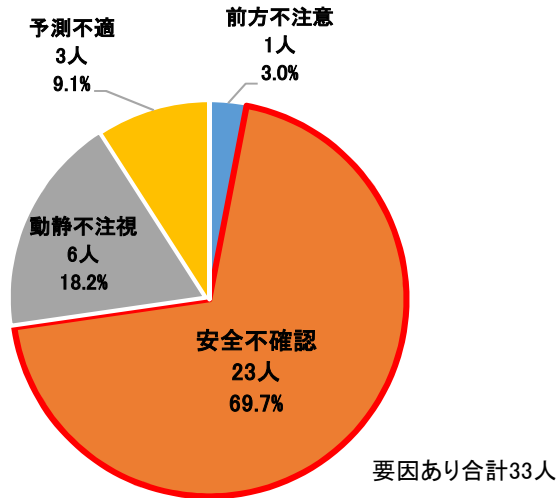
参考〈全年齢〉



※ 自転車の同乗者（幼児用座席乗車中の者、二人乗り等）を含む

中学生の自転車乗用中の交通事故発生状況

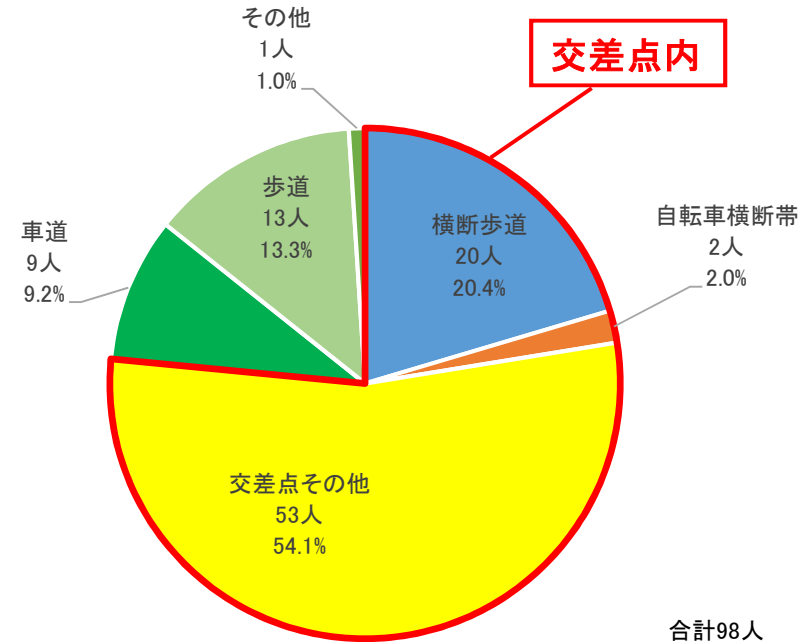
自転車乗用中死傷者の人的要因
【登下校・令和元年～令和5年合計】



※ 自転車の同乗者(幼児用座席乗車中の者、二人乗り等)を除く

人的要因あり	前方不注意	1人	
	安全不確認	安全確認をしなかった	14人
		安全確認が不十分	9人
	動静不注視		6人
		相手が譲ってくれると思った	5人
		その他	1人
	予測不適	3人	
	交通環境	0人	
	操作不適	0人	
	小計	33人	
人的要因なし	61人		
合計	94人		

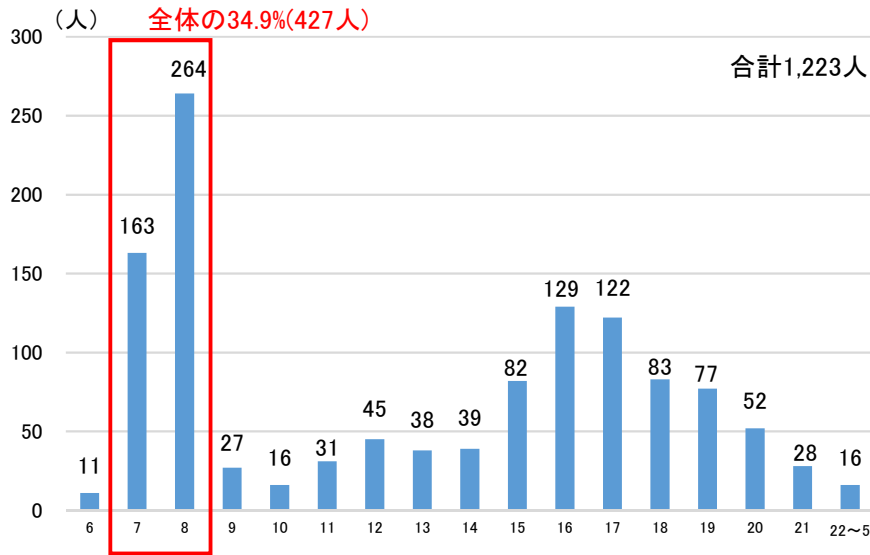
衝突地点別自転車乗用中の死傷者数
【登下校・令和元年～令和5年合計】



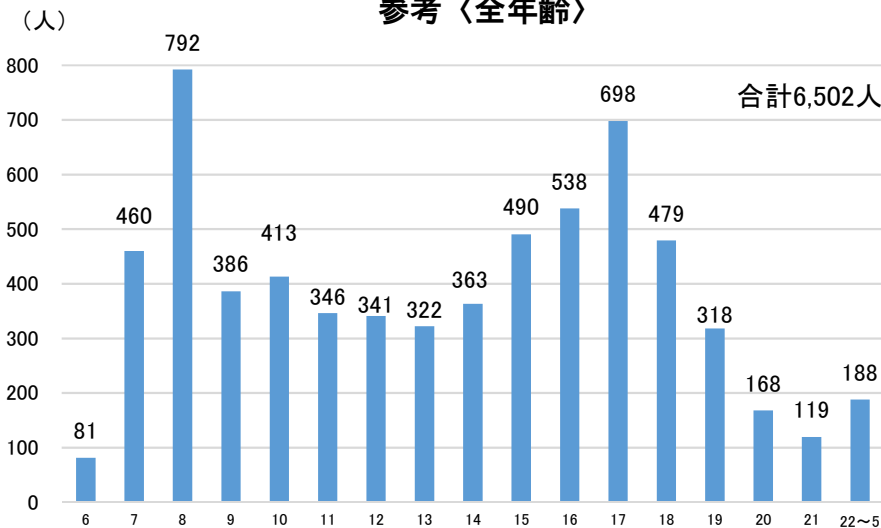
※ 自転車の同乗者(幼児用座席乗車中の者、二人乗り等)を含む

高校生の自転車乗用中の交通事故発生状況

時間帯別自転車乗用中の死傷者数 【令和元年～令和5年合計】

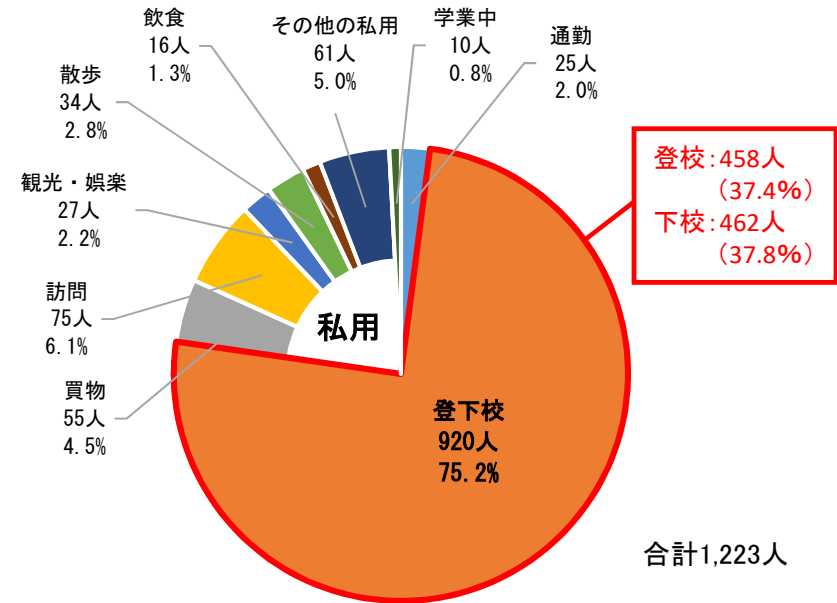


参考〈全年齢〉

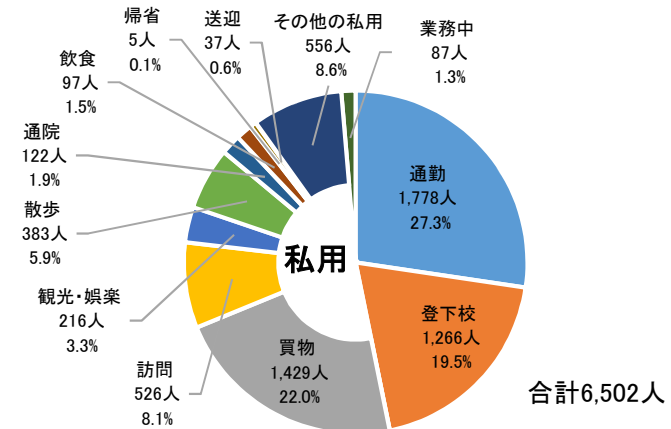


※ 自転車の同乗者(幼児用座席乗車中の者、二人乗り等)を含む

通行目的別自転車乗用中の死傷者数 【令和元年～令和5年合計】



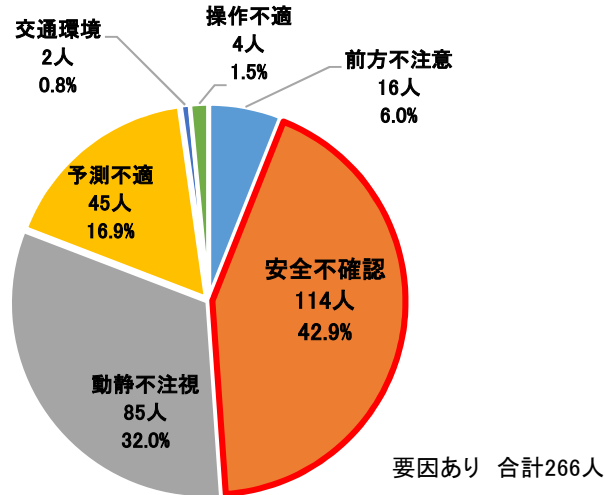
参考〈全年齢〉



※ 自転車の同乗者(幼児用座席乗車中の者、二人乗り等)を含む

高校生の自転車乗用中の交通事故発生状況

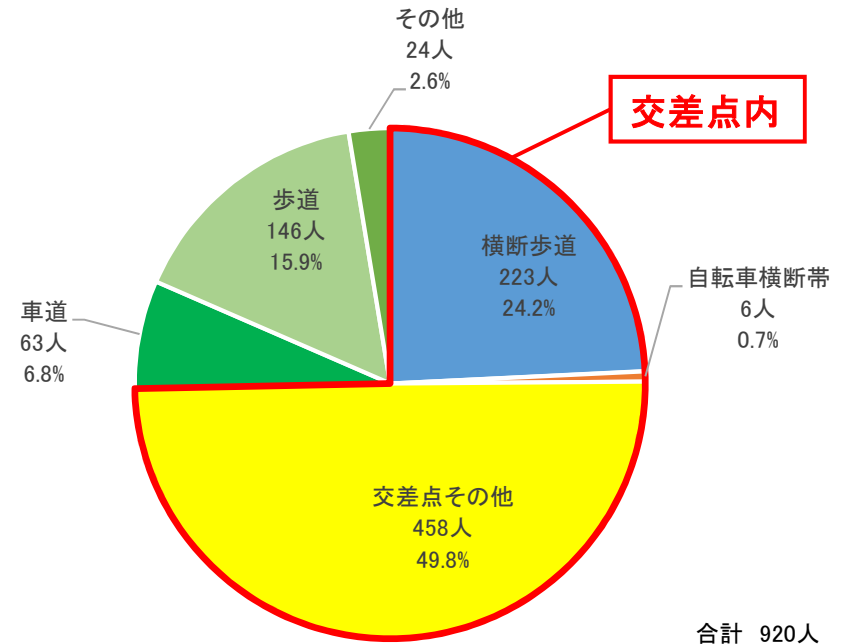
自転車乗用中死傷者の人的要因
【登下校・令和元年～令和5年合計】



※ 自転車の同乗者(幼児用座席乗車中の者、二人乗り等)を除く

人的要因あり	前方不注意	16人
	安全不確認	114人
	安全確認をしなかった	55人
	安全確認が不十分	59人
	動静不注視	85人
	相手が譲ってくれると思った	75人
	その他	10人
	予測不適	45人
	交通環境	2人
	操作不適	4人
小計	266人	
人的要因なし	639人	
合計	905人	

衝突地点別自転車乗用中の死傷者数
【登下校・令和元年～令和5年合計】



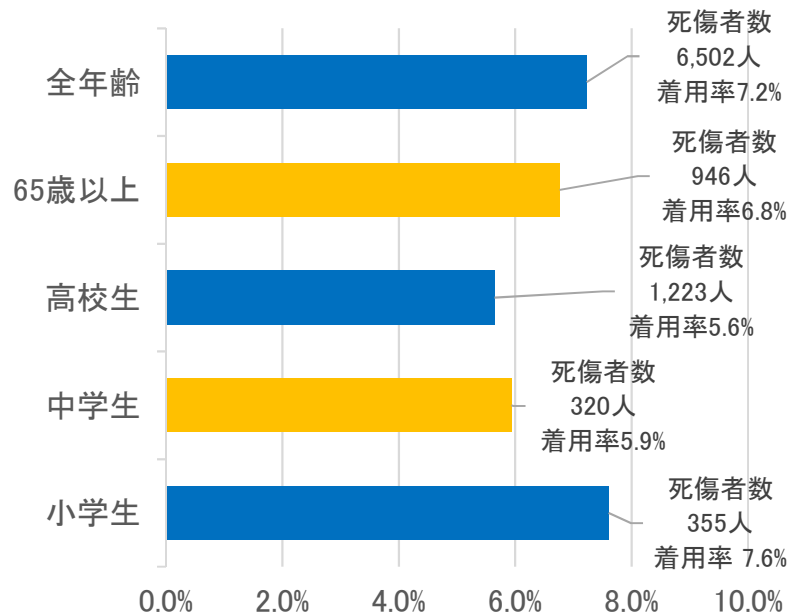
※ 自転車の同乗者(幼児用座席乗車中の者、二人乗り等)を含む

全世代別の自転車乗用中のヘルメット着用状況

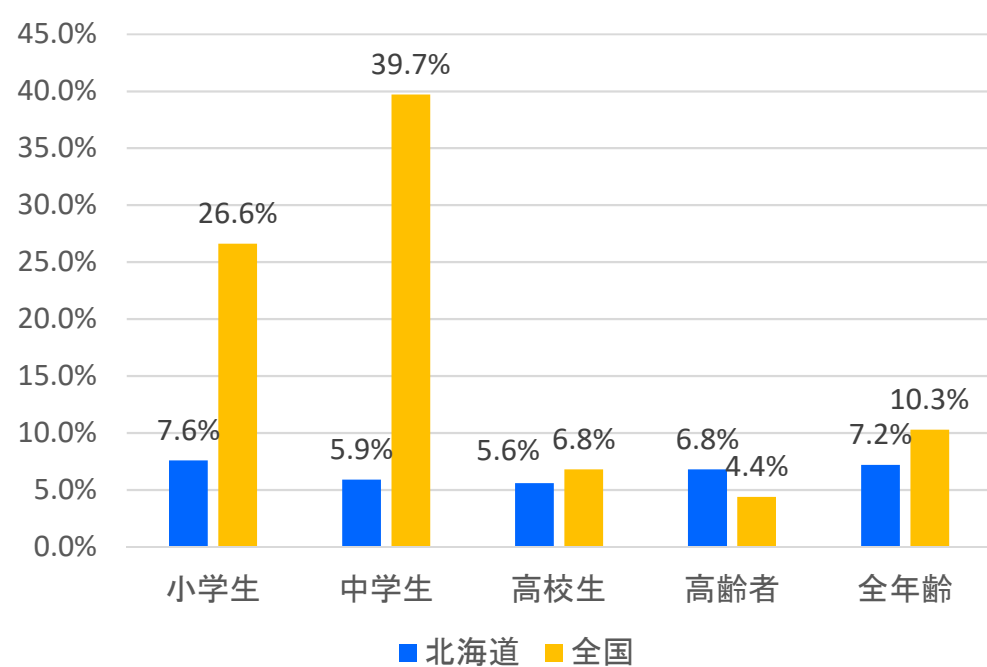
自転車乗用中死傷者のヘルメット着用率(令和元年～令和5年)

北海道の自転車乗用中の死傷者全体におけるヘルメットの着用率は**7.2%**にとどまる。
小学生、中学生、高校生の世代は、**全国と比べて着用率が低く、特に小学生と中学生の着用率が低い。**
高齢者の着用率は**全国平均を上回った。**

世代別ヘルメット着用率



北海道と全国のヘルメット着用率



※ 自転車の同乗者(幼児用座席乗車中の者、二人乗り等)を含む

※ 「ヘルメット着用率」とは、自転車乗用中の死傷者のうち、ヘルメット着用者の割合をいう